

第3学年 単元名 一番心に残ったところを中心に感想文を発表しよう

教材名 「サーカスのライオン」 川村 たかし (東京書籍 小学校3年下)

**研究主題** 自分の考えをもち、豊かに表現する子の育成  
～国語科・算数科の伝え合う活動を通して～

**中学年分科会 目指す児童像**

- ・ 叙述や経験、既習内容を基にして、根拠を明らかにしながら自分の考えをもつ子
- ・ 自分の考えを、言葉、数、式、図、表、グラフなどを用いて、分かりやすく表現する子
- ・ 考えの共通点や違いに気づき、友達の考えのよいところを認めることができる子

日時 平成26年10月28日(火) 第5校時

指導者 蓮沼 佐苗 (3-1 29名)

指導者 菅野 静華 (3-2 31名)

1 単元の指導目標

- 物語に興味をもち、人物の気持ちの変化を考えながら読もうとする。 **【関心・意欲・態度】**
- 人物の気持ちを場面ごとに読み取り、全体を通して気持ちがどのように変化したかを読み取ることができる。 **【読むこと】**
- 物語の感想を書くために、物語の一番印象に残ったところや人物の行動に着目して読むことができる。 **【読むこと】**
- 自分の感想が伝わるように、書くことを選び、構成を考えて書くことができる。 **【書くこと】**

2 指導計画と評価規準 (10時間扱い)

次	時	主な学習活動	評価規準	★言語活動とのつながり
0		・ 読書月間 ・ 関連図書を読む。	<b>【関】</b> 人と動物の気持ちのふれあいを感じて読んでいる。	★感想文を作成へ関心を持つ。
一	1	・ 場面分けを確かめ、場面ごとの大きな出来事を整理して、簡単なあらすじをまとめる。 物語を読んで、初発の感想を交流する。	<b>【関】</b> 物語に興味をもち、人物の気持ちの変化を考えながら読もうとしている。	★物語の感想文を書いて発表することを知り、粗筋を書く。
二	2	・ 第1場面を読んで、サーカスにいるじんごの気持ちを想像する。	<b>【読】</b> 叙述を基に、サーカスの中で過ごしてきたじんごの境遇や気持ちを読み取っている。	★じんごの気持ちをワークシートに書く。
	3	・ 第2場面を読み、男の子と出会ったじんごの気持ちを想像する。	<b>【読】</b> 叙述を基に、男の子と出会ったじんごの気持ちの変化を読み取っている。	★じんごと男の子の気持ちをワークシートに書く。
	4	・ 第3場面を読んで、じんごと男の子の関係の深まりから、じんごの気持ちを想像する。	<b>【読】</b> 叙述を基に、男の子と交流したじんごの気持ちの高まりを読み取っている。	★じんごと男の子の気持ちをワークシートに書く。
	5	・ 第4場面を読んで、じんごの行動から、じんごの気持ちを想像する。	<b>【読】</b> じんごの行動を基に、火事に立ち向かうじんごの気持ちを想像している。	★じんごの気持ちをワークシートに書く。
三	6 本時 3-2	・ 物語を通してじんごの気持ちのどのように変化したのかについて考える。 ・ サーカスのおしまいの日の人物の気持ちを考える。	<b>【読】</b> 読み取ったことを基に、じんごの気持ちの変化について考えている。 <b>【読】</b> じんごのいないサーカスの様子やライオン使いのおじさんとお客さんの気持ちを想像しながら読んでいる。	★おじさんとお客さんの気持ちをワークシートに書く。
四	7 本時 3-1	・ 一番心に残ったところを話し合い、考えたことを交流する。	<b>【読】</b> 物語を読んで考えたことを伝え合い、一人一人の感じ方に違いがあることに気付いている。	★感想文に書きたいところとその理由をワークシートに書く。
	8 9	・ 心に残った場面を中心にして感想文を書く。	<b>【書】</b> 心に残った場面を選び、その理由を明確にして、構成を考えて書いている。	★感想文を原稿用紙に書く。
	10	・ 書いた感想文を発表し、自分が感じたことと比べる。	<b>【読】</b> 自分の感想と比べながら友達の感想を読んでいる。	★感想文を読み合って発表し、交流する。

### 3 児童の実態

今年度の4月の北区基礎・基本の定着度調査（国語）で、本学年の児童は、観点別正答率において「読む能力」は73.5%（区の平均値-0.3%）で、「物語の内容を読み取る」項目では、正答率が80.9%と、目標値を5%上回った。

校内では、4月に国語に関する意識の調査の第1回目を行った。本学年の結果は、以下の通りである。

	よくできる	できる	あまりできない	できない	集計
1 作品や文章を読んで、感想や自分の考えをもつことができますか。	32	23	5	1	1.3
2 感想や考えを進んで発表することができますか。	16	27	15	3	0.6
3 友達の考えを聞いて、意見を言ったり、質問したりすることができますか。	24	18	15	4	0.7
4 話し合いのあと、初めとは違う感想や考えをもつことができますか。	33	21	7	0	1.3

（※集計は、「よくできる」を2、「できる」を1、「あまりできない」を-1、「できない」を-2として合計をし、児童数で割ったものである。）

この実態調査より、本学年の児童は、作品や文章を読んで自分の考えをもつことはできると考えている児童が多いことが分かった。また、感想や考えを発表することができないと考えている児童も多い。

7月は、「ゆうすげ村の小さな旅館」という物語教材で、紹介カードを作り、自分のおすすめの場所を紹介し合う活動を行った。そのときは自分のお気に入りのところをすすんで紹介したり、理由を話したりする学習活動を行った。また「ゆうすげ村の小さな旅館」の本から別の物語も積極的に読んで、おすすめカードを書くことができた。本単元でも、単元を貫く言語活動として、感想文を読み、友達と交流することを目的にしている。そこまでに自分が一番心に残ったところを見付け、その理由が伝えられるように支援していく。

本学年の児童は物語の展開を楽しんだり、場面の様子や人物の気持ちに興味をもって読みだりすることができるようになってきている。さらに、物語の中の人物の行動や気持ちに対して、自分はどう思うかということを感じ文を書くことで、自分の考えを形成し表現する力を高めることを目指す。

### 4 研究主題に迫るための手だて

#### (1) 自分の考えをもつための工夫

- ① 場面の様子や登場人物の気持ちが表示されている言葉にサイドラインを引かせる。
- ② 自分の考えを、2人組・グループ・全体に広げられるようにする。
- ③ ネームプレートを活用することで、自分の考えを明確にしながら、伝え合うことができるようにする。
- ④ 短冊を提示して、課題が明確になるようにする。

#### (2) 豊かに表現するための工夫

- ① 国語辞典などを活用して言葉の意味調べをさせたり、動作化させたりして語彙を広げる。
- ② 伝え合いの活動が、円滑にできるように話型を提示する。
- ③ 一番心に残ったところを見付け、理由を伝えるために毎時間、登場人物の様子や気持ちについて伝え合う場を設ける。
- ④ 感想文を書くために、はじめ・中・終わりに何を書くのかを提示する。

5 本時の授業の見どころ

話型を基にしたグループでの伝え合い

6 本時の指導（7 / 10時）

指導者 蓮沼 佐苗（児童数29名、3年1組教室）

(1) 目標

【読】物語の一番心に残ったところとその理由を伝え合い、一人一人の感じ方に違いがあることに気付くことができる。

(2) 展開

	学習活動	*指導上の留意点・配慮事項 ◇評価 ★言語活動とのつながり
つ か む 10 分	「サーカスのライオン」を読んで一番心に残ったところを中心に、感想文を発表しよう。	
	1 5つの場面を確認する。 2 単元のめあてと本時のめあてを確認する。	*場面1～5の挿絵を提示する。 *本時のめあてをノートに書く。
	一番心に残ったところを伝え合おう。	
	3 一番心に残った場面を音読する。 T: ワークシートの心に残った場面にまるをつけてから、その場面を音読しましょう。	*一番心に残ったところを見つけるために、その場面を音読することを伝える。 *ワークシートの心に残った場面にまるをつけてから音読させる。 *声の大きさに気を付ける。

<p>考えをもつ 15分</p>	<p>4 一番心に残った部分とその理由を考える。</p> <p>T: 自分が一番心に残ったところを考えて、ノートに書きましょう。</p> <p>C: わたしはじんざがアフリカの夢をみているところが一番心にのこりました。理由は、夢の中ではじんざは風のように走っているからです。</p> <p>C: わたしはじんざが男の子と会ったところでは、理由は、「じんざは、ぐぐっとむねのあたりがあつくなつた。」という文があるのでじんざの優しさが伝わりました。</p> <p>C: じんざが「ウォーッ。」とほえたところでは、理由は、「じんざが力をふりしぼって男の子を助けた」、とあり、じんざの勇気ある行動が伝わりました。</p> <p>C: わたしは、5つの火の輪だけがめらめらと燃えていたところが一番心に残りました。理由は、じんざがいなくてもみんながサーカスをやっていたからです。</p>	<p>*心に残った部分を教科書にまるで囲ませる。</p> <p>*心に残った部分と理由をノートに書かせる。</p> <p>*どのようにノートに書くか話型を提示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">話し方</p> <p style="text-align: center;">わたしはくぐぐのところが一番心に残りました。理由はくぐぐだからです。</p> </div>
----------------------	---	---

<p>伝え合う 15分</p>	<p>5 心に残った部分とその理由を伝え合う。  <b>T</b>:自分が一番心に残ったところとその理由を発表しましょう。   <b>C</b>:わたしは、じんざが男の子を助けたところが一番心に残りました。理由は、足をけがしていたにも関わらず、じんざが男の子を助けたからです。   <b>C</b>:わたしは、C1さんと同じところをえらびましたが、理由がちがいます。じんざは高いところで力のかぎりほえて、男の子のことを知らせたからです。   <b>C</b>:わたしは、C1さんとちがって、サーカスの日の終わりの場面が一番心に残りました。理由は、じんざの姿がなくてもみんながサーカスをやっていたからです。</p> <p>6 グループの代表者は心に残った部分を発表する。</p> <p>7 自分と同じところにネームプレートを貼る。  <b>T</b>:4の場面のじんざが男の子を助ける場面が心に残った人もいれば、5の場面のじんざがいない場面を選んだ人もいましたね。</p>	<p>*少人数(3~4人)のグループでの伝え合いをさせる。  *グループで感想を伝え合うために話型を示す。  *ノートに書いてあることを一人が言ったら、次の日とは話し方あるいは二の言い方に注意して話すことを伝える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: right;">話し方</p> <p>一、わたしは、  と 同じところを  ら びましたが、理  が ちがいます。理  は じだからです。  わ たしは、  と ちがって、  の こりま  は、  す。</p> <p style="text-align: left;">二、  と ちがって、  の こりま  は、  す。</p> </div> <p>*発表者の心に残ったところを場面の絵の下に教師が板書する。  *理由になっている文や言葉のページを開き、もう一度全員で叙述に戻り、確認する。  *一番心に残ったところだということを再度確認し、ネームプレートをはらせる。  *人によって感じる場面は違うことを伝える。  ◇【読】物語を読んで考えたことを伝え合い、一人一人の感じ方に違いがあることに気付いている。(ワークシート)  A) 物語を読んで考えたことを伝え合い、考えの異同に気付いている。  B) 自分の考えを持って伝え合うことができる。  C) 友達の考えを聞くことができるが、自分の考えを伝え合うことができない。</p>
<p>まとめる 5分</p>	<p>8 ワークシートに一番心に残ったところとその理由を書く。</p>	<p>*ノートに書いたところと違ってもよいことを伝える。  ★心に残ったところとその理由を書いている。  *次時は一番心に残ったところについて感想文を書くことを伝える。</p>

7 板書計画

場面5

場面4

場面3

場面2

場面1

お客さんが手をたたいているところ

じんざが男の子を助けたところ。

←ネームプレート

単元のめあて

サーカスのライオン

「サーカスのライオン」を読んで、一番心にのこったところを中心に感想文を発表しよう。

日にち

本時のめあて

一番心にのこったところを伝え合おう

6 本時の指導（5/11時）

(1) 目標

- ・第四場面を読んで、じんざの行動から、じんざの気持ちを想像することができる。

(2) 展開

	学 習 活 動	*指導上の留意点・配慮事項 ◇評価 ★言語活動とのつながり
つかむ 7分	<p style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;">じんざの気持ちの変化を読み取って、紙しばいをしよう。</p> <p>1. 第一場面から第三場面を振り、本時のめあてを確認する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">火事が起きた時のじんざの気持ちを考えよう。</p> <p>3. 第四場面を音読する。</p>	<p>*リーフレットをもとに、じんざの気持ちの変化、前日の気持ちの高まりを確認する。</p> <p>*本時のめあてをノートに書く。</p> <p>*じんざの気持ちや情景を想像しながら音読させる。</p>
考えをもつ 13分	<p>4. じんざの様子や行動から気持ちを想像する。</p> <p>T：「じんざが一人でつぶやいた時、どんな気持ちだったと思いますか。」</p> <p>C：「みんなに言って、安心させてあげよう。」</p> <p>C：「自分に助けられるといいきかせて自信をつけよう。」</p> <p>T：「じんざがウォーッといいますが、もし人間だったら何という言葉だったと思いますか。想像してワークシートに書いてみましょう。」</p>	<p>★第四場面のじんざの行動にサイドラインを引かせる。</p> <p>★サイドラインを引いた箇所の横にじんざの気持ちを書かせる。</p> <p>*じんざの気持ちを行動の順番に発表させ、気持ちの変化を読み取らせる。</p> <p>*じんざの行動は短冊に書いておき、貼っていく。</p> <p>*ペープサートを使ってじんざの行動や周りの様子をわかりやすくする。</p> <p>★じんざが吠えた時の気持ちを考えながら、ワークシートに書かせる。</p>

<p>伝え合う 20分</p>	<p>5. じんざがウォーッと吠えた時、人間だったら何という言葉だったと思うかを伝え合う。</p> <p>T：「グループになってじんざが叫んだ時の言葉を伝え合いましょう。」</p> <p>C1：「僕は、早く助けのひと、こい！って呼んだのだと思います。なぜなら、ライオンも高いところで飛び降りることができなかつたからです。」</p> <p>C2：「私も理由は同じだけど、男の子にあきらめちゃだめだ！といったのだと思います。もう助からないかもしれないけれど、生きてほしかったからいったのだと思います。」</p> <p>6. じんざの気持ちを人間の言葉にしてロールプレイングをする。</p> <p>T：「グループの中で、一つじんざが叫んだ時の台詞を決めましょう。じんざ役、ナレーター、男の子役を決め、P16の一行目から、ウォーッと叫ぶところまでをロールプレイングします。また、ウォーッといるところは人間の言葉にして、言ってもらいます。」</p> <p>7. 全体の前で数組に発表してもらおう。</p>	<p>* 3～4人のグループになり、じんざの気持ちを想像しながら話し合いをさせる。</p> <p>* なぜそう思ったのか理由も話すようにする。</p> <p>* 友達の考えを聞いて、どう思ったかをグループの人は必ず伝えるようにする。</p> <p>【読】 じんざの行動をもとに、火事に立ち向かうじんざの気持ちを想像している。</p> <p>* グループの中でじんざ、ナレーター、男の子役を決め、ロールプレイングをさせる。</p> <p>* 時間を区切り、役が決まらない場合はじゃんけんで決め、練習の時間を確保する。</p> <p>* じんざ役の児童は、言葉を考えた児童でなくてもよいものとする。</p> <p>* 机を元に戻してから発表させる。</p> <p>* 発表できなかったグループは別の時間に発表の機会を与える。</p>
<p>まとめる 5分</p>	<p>8. 感想を発表する。</p> <p>9. 次時の予告をする。</p>	<p>* 友達のグループの発表について感想を言わせる。</p> <p>* じんざの台詞に焦点を当てて、感想を言えるようにする。</p>

7 板書計画

サーカスのライオン

単元のめあて

じんざの気持ちの変化を読み取って、紙しばいをしよう。

本時のめあて

火事が起きた時のじんざの気持ちを考えよう。

じんざの行動・様子はねおきた

体がぐうんと大きくなった

古くなったおりをぶちこわして、まつしぐらに外へ走り出した。

ひとかたまりの風になってすつとんでいく。

はつと目の中へとびこんだ

ひとりでつぶやいた

足をひきづりながら男のこの部屋までたどりついた。

すばやく抱きかかえて外に出ようとした

身震いをした

力のかぎり吠えた

両目で目を抑えた

びかびかにかがやくじんざ